

# 神戸マラソン ボランティア ご協力 ありがとうございます

1. 兵庫ジャーナル 2011年11月28日  
第3面 第一回神戸マラソン記事より  
写真 給水活動などで多くのボランティアが運営を支えた  
は、同窓会担当の給水所の様子が使用されています
2. 兵庫ジャーナル殿より  
写真の提供を受けました  
記事に使用した写真を提供して頂きました。
3. 神戸新聞社 2011年11月30日  
地域ニュースから  
神戸マラソン ボランティアの記事  
写真は、同窓会担当の給水所の様子が使用されています

多くの仲間と共に『協働』の作業で感じることは、洋上大学  
事業で『感動』した活動と同じだ！

# 第1回神戸マラソン 2万3千人が甦ったまち駆け抜ける

「感謝と友情」をテーマに20日午前9時、井戸知事の号砲とともに「第1回神戸マラソン」がスタートした。全国から集った約2万3千人のランナーが神戸市役所前をスタート、フルには2万642人、クォーターは2316人が出場した。長田区の鉄人28号モニュメント前など阪神・淡路大震災から復興をしたまちを駆け抜け、クォーターは須磨浦公園でフィニッシュ。フル出場選手は、秋晴れの空が輝く



## 県民すべてがかかわる 兵庫の教育

須磨海岸沿いを走り、明石海峡大橋のたもと、立舞子公園で折り返し、ハーランドなど神戸らしさあふれるコースを疾走、ポートアイランドの市民広場付近でゴールした。沿道では52万3千人が声援を送った。16年前の震災から美しく甦ったまちを力強く走り、そして元気で温かい応援で、国内外からの復興支援への「ありがとう」と東日本大震災被災地に勇気と希望を与える「エール」を発信した。

## 東北被災地に復興エール 52万3千人が沿道で応援

これを具体化するため神戸マラソンフレンドシップバンクを設立し、チャリティゼッケンやオ



植月実行委員会会長が「新しい絆が生まれることを願い、東北復興への勇気、希望のエールを送ろう」とあいさつ。井戸知事の号砲でスタートした



明石海峡大橋のたもと、立舞子公園で折り返し、ゴールのポートアイランドをめざした

## 兵庫から「感謝と友情」のメッセージ

## 「市民力で素晴らしい大会に」井戸知事

## 取材メモ

1着、神戸出身、中、高、大、は同じ学院大、ゴールは上谷聡子さん。ゴール地点では井戸知事、矢田市長、植月実行



給水活動などで多くのボランティアが運営を支えた



絶え間なく続く、沿道の声援が選手の励みに



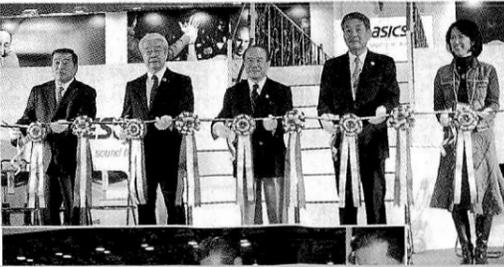
井戸知事、矢田市長らがフィニッシュした選手を出迎え完走を喜び合った

「市民力で素晴らしい大会に」井戸知事は、ゴールしたのほは表彰式のほか、「感謝と友情」をテーマにしたステーションイベントが行われた。ゴール地点では井戸知事、矢田市長、植月実行



ゴール地点周辺では、にゅうめんなどの炊き出しが行われた。大会に呼ぶかけ

## 五輪メダリストの有森裕子さんを迎



神戸マラソンEXPOが開幕



フレンドシップバンクのブースを大西教育長が視察

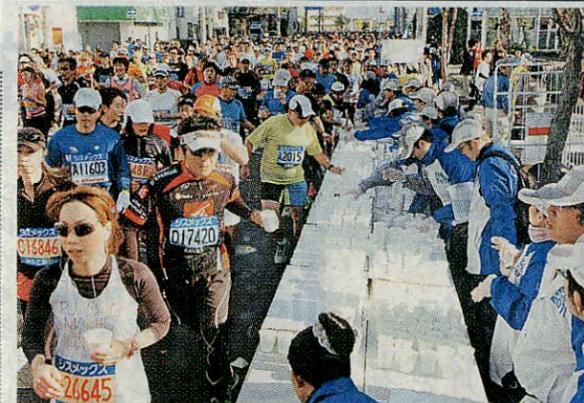


フルマラソンを走り切ったランナーが感動のゴール。④入賞したランナーに賞状と記念品を贈呈

○：いなみ野学園が兵庫大・短大と協定。また同学園卒業生が東北被災地に支援金など。県職OBらの地域貢献が光る。「積善に余慶あり」の言葉思い出し。

○：京都で6府県議員交流フォーラム。分科会で本音議論。京都府選出の府議は「市民が払った府税を、市内にしっかり落とすのが役目」。奈良県議は「合併で生き残れない首長が多かったから」と合併率の少なさを説明。





神戸マラソンの給水所。一部で飲料水不足が指摘された=20日、神戸市長田区(撮影・宮路博志)

# 神戸マラソン 課題集約

実行委 次回に向け解決策探る

飲料水不足、イベント中止…

20日に神戸市内で開かれた「第1回神戸マラソン」で、実行委員会事務局が課題の洗い出しを進めている。大会の教訓を次回に生かすのが目的で、県警や関係企業などとも意見交換し、本年度

実行委によると、課題

の1つは、ランナーに供給する飲料水の不足。コース上に給水所13カ所を置き、水とスポーツドリンク約5万4千リットルを用意した。しかし当日は気温が比較的高く、ランナーへの給水が多かったため、一部給水所で飲料水が不足。約1300リットルを急ぎよ、追加したという。

また、予想以上の強風で、グルメイベントを中止せざるを得なかった。マラソンコースについても評価の声がある一方で、「カーブが多い」「道が狭い」などの指摘があった。このほか、応援の声や通行規制について住民から苦情が寄せられたことから、大会の事前の周知を徹底すべきだった

との意見もあるという。の意見にも耳を傾け、時「したい」としている。実行委事務局は「外部間をかけた解決策を検討」(本田純一)



本社 社会部	TEL:078-362-7040
姫路支社 編集部	079-281-1125
東播支社 編集部	079-422-2073
阪神 総局	0798-33-5541
北摂 総局	079-563-2256
明石 総局	078-912-4343
淡路 総局	0799-22-1277
北播 総局	0795-42-5656
但馬 総局	0796-22-3121
丹波 総局	0795-72-0540
大阪支社 編集部	06-6447-1841
東京支社 編集部	050-3757-4234